

第23回 仙台市国家戦略特別区域会議 仙台市提出資料

令和6年12月10日

仙台特区：女性活躍・社会企業のための改革拠点



- 産学官金言連携のプラットフォーム「仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会」を通じた先端サービス創出・規制改革提案

- 19の規制改革メニュー活用による着実なビジネス環境整備
- 各種イベント・国際会議等での発信による都市プレゼンス向上



➡R6.11.8 東北大学 国内初の国際卓越研究大学に認定

- 世界に伍する研究大学として、仙台・東北から我が国のイノベーションをリード
- 海外研究者や留学生など高度外国人材の増加、関連企業の集積を見据えた対応が必要



➡協議会に「国際卓越WG」を創設し、ジェンダードイノベーションや外国人受け入れ環境整備など推進
国際的に開かれた「ダイバーシティまちづくり」を進め、包摂的成長を目指す！

1 「D to P with N型」オンライン診療の推進に向けた診療報酬の改定

新規提案



<提案の背景・課題>

- 東北地方は人口減少・医師の偏在が顕著であり、医療アクセスの確保・医師不足への対応が喫緊の課題。本市では、看護師が搭乗した診療カーを患者の元に派遣し、遠隔で医師の診療を行う「D to P with N型」のオンライン診療を実施。
- 現行制度における看護師等遠隔診療補助加算は「へき地医療拠点病院またはへき地診療所」に限定されており、看護師を介在した質の高いオンライン診療の展開を図るためには、「D to P with N型」が実施しやすい環境の整備が必要。



<提案の概要>

看護師等遠隔診療補助加算の対象を「へき地医療拠点病院またはへき地診療所」のみに限定せず、へき地に該当しない地域においても同様の診療報酬算定とすること。

➡「D to P with N型」オンライン診療のさらなる展開により、持続的な地域医療提供体制を構築！

2 高度外国人材の活躍促進に向けた在留資格の特例

新規提案



<提案の背景・課題>

- 外国人留学生について、週28時間を超える労働には一定の条件があることにより、十分な就職活動等の機会を提供できていない。また海外研究者等に帯同して来日する配偶者等についても、就労に当たって一定の条件があることにより、優秀な外国人材の家族ぐるみでの来日判断に影響を及ぼす。
- 「国際卓越研究大学」の構想実現に向けては、世界トップクラスの研究者獲得を推進していく必要があるところ、現行の在留資格制度に比して強力なインセンティブを設けることが重要。



<提案の概要>

- ① 在留資格「留学」及び「家族帯同」における週40時間（フルタイム）の労働について、国際卓越研究大学の留学生又は当該大学研究者の帯同家族であることを要件とした柔軟な運用を認めること。
- ② 在留資格「高度専門職1号・2号」におけるポイントに、国際卓越研究大学での研究従事又は卒業を要件として、加算措置を設けること。

→高度外国人材が活躍しやすいビジネス環境の構築により、イノベーション創出を加速！